

## WEB インターフェースによる就職活動 支援システムに関する研究

三井所健太郎<sup>†</sup> 藤村直美<sup>††</sup>

就職活動の早期化・長期化による、学生の講義及び研究への参加意欲の低下は深刻な問題である。しかし、この問題について大学・学生・企業間で議論されることは少なく、具体的な解決策は講じられていない。本研究では、このような状況を改善するため、学生に大きな負担となっている「就職情報管理」及び「エントリーシート作成」を支援するシステムを開発した。学生の就職活動への負担を減らし、学業への意識低下を防ぐことを本研究の目的とする。

### A Study on Job Hunting Activity Support System with Web Interface

Kentaro Miisho<sup>†</sup> and Naomi Fujimura<sup>††</sup>

It is serious for students to decrease motivation for lecture or research in university, because job-hunting activity becomes earlier and longer. However, this problem has not yet been discussed among University, students, and companies. As a result, effective solution could not be discovered. In this research, we developed the system to support students to manage job hunting information and make Entry Sheets easily for solving this problem. Our goal is to reduce a burden in Job hunting activity and prevent students from decreasing motivation.

#### 1. はじめに

近年、就職活動の早期化・長期化により、学生の講義及び研究への参加意欲の低下が懸念されている。これは学生を指導する教員も頭を抱える問題である。しかし、この問題について大学・学生・企業間で議論されることは少なく、具体的な解決策が未だ講じられていないのが現状である[1]。

学生の就職活動に目を向けると、インターネットの普及により企業情報の収集手段の幅は格段に広がっている。就職志望対象企業数は年々増加し、学生一人がエントリーする企業数は 2009 年 6 月時点で平均 7 0 社を越えている[2]。しかし、情報量の増加は二つの弊害をもたらした。一つ目は、「情報管理の負担増」である。学生は収集した膨大な情報を適切に管理できず、効率的に情報を活用できていない[3]。二つ目は「エントリーシート（以下 ES）作成の負担増」である。エントリー数の増加に伴い、就職志望企業に提出する ES の作成に学生はより多くの時間を費やさなければならない。この二つの弊害が学生の就職活動の負担となり学業へ悪影響を及ぼしている。

本研究では、この二つの負担を改善するサービスが世の中に無いことに着目した。学生が収集した膨大な就職情報を一元的に管理し、ES 作成を支援するシステムを開発する。これによって学生の就職活動の負担を減らし、学業への意識低下を防ぐことを本研究の目的とする。

第 2 章ではシステムの全体の概要と役割、第 3 章ではシステムの実装機能、第 4 章では ES 自動作成の仕組みをそれぞれ説明する。

#### 2. システム概要

##### 2.1 システムの位置づけ

就職活動は、「情報収集段階」と「選考段階」の二つに分けられる[4]。就職活動の流れと負担の原因を図 1 に示す。

\*<sup>†</sup> 九州大学大学院芸術工学府  
Graduate School of Design, Kyushu University.  
<sup>††</sup> 九州大学大学院芸術工学研究院  
Faculty of Design, Kyushu University.

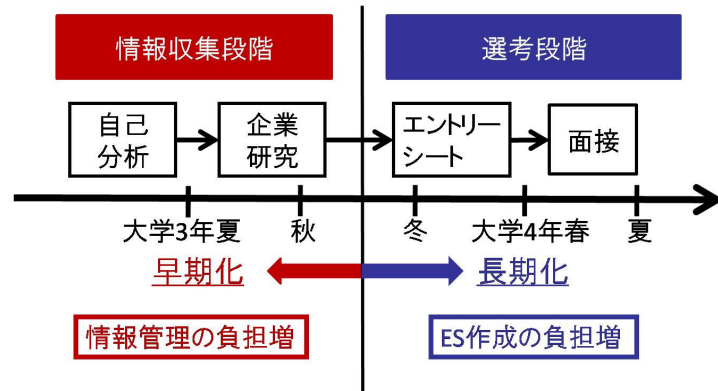


図 1 就職活動の流れと負担の原因  
Figure 1 Span of job-hunting activity and cause of burden

情報収集段階では、学生はより早い時期により多くの就職情報を収集・管理することが求められている[5]。情報の収集・管理は複雑になる一方、情報収集量は増加するため、学生はより多くの企業にエントリーを行う。その結果、選考初期のESの作成に膨大な時間を費やす必要に迫られている。

本システムの位置づけは、情報収集段階における「情報の一元化」と選考段階における「ES作成の効率化」の2つの役割を担うことである。

## 2.2 システムの役割

### (1) 情報の一元化

就職活動に必要な情報の一元管理を行う。就職活動で扱う情報は「個人情報」と「企業情報」の二つに分けられる。しかし、情報源は就職サイト[6]・企業HP・説明会・セミナー・就職本・掲示板・ESファイルなど多岐に渡っている。学生はその情報をWEB・Word/Excel・携帯電話・手帳など、様々な媒体に分散して保存・管理している。

本システムでは、多種多様な就職情報を一元管理し、企業研究に使用する「企業情報」と自己分析に使用する「個人情報」に区別して登録する。これにより、必要な就職情報を効率良く活用できる。

### (2) ES作成の効率化

ESの作成支援と他ユーザとのES共有化を行う。学生は1社のES作成に平均4.6時間費やしている(a)[7]。本システムでは、管理している「企業情報」と「個人情報」から、就職志望企業に最も適したESを短時間で自動作成することが出来る。ESの編集・管理も可能である。

また、ESを他のユーザと共有する機能も有する。コメント・評価機能や、関連度・評価・通過率の高いESを共有し、自らのESの質を高めることが可能である。システムの役割(全体像)を図2に示す。

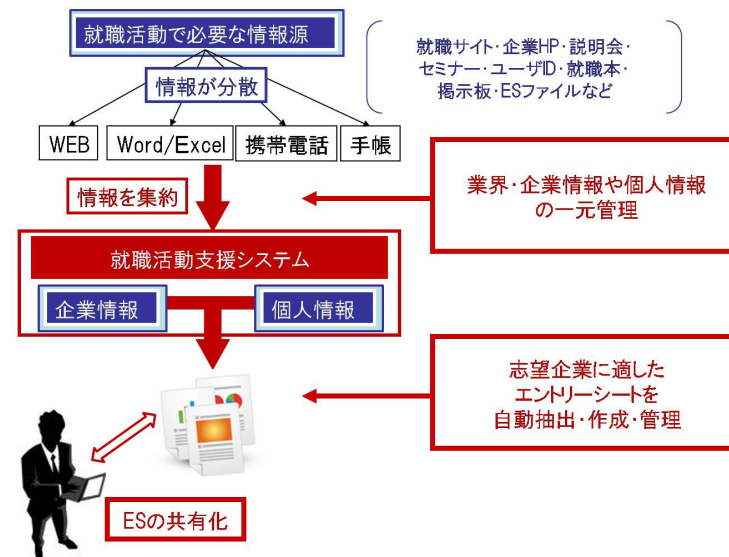


図 2 システムの役割(全体像)  
Figure 2 Role of system (whole image)

a) 2009年8月~9月九州大学芸術工学部及び芸術工学府の学生36人を対象に調査を行った。その結果、学生の83%がESの負担が大きいと回答した。理由は①文章作成が苦手②企業ごとに回答を変えなければならない③情報収集に手間がかかるであった。

### 2.3 システム構成

本システムの構成図を図 3 に示す。

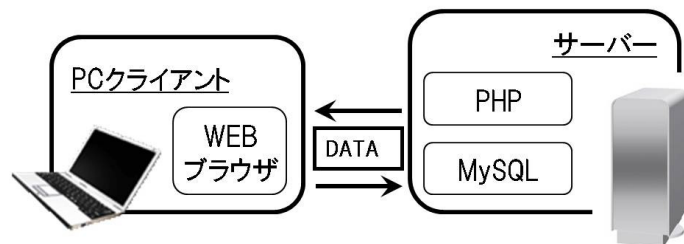


図 3 本システムの構成  
 Figure 3 Composition of this system

本システムはPCクライアントを対象としたWEBブラウザ上で動作するシステムである。サーバー側のシステムはPHPで開発しており、データベースにはMySQLを利用している。

## 3. システムの機能

システムの主機能は「企業情報管理」「プロフィール情報管理」「ES作成・共有」の3つに分けられる。

### 3.1 企業情報管理

ユーザは以下の企業情報を登録する[8]。

- 業界の特徴 (20種選択)
- 会社の特徴 (20種選択)
- 求める人物像 (12種選択)
- 企業発行のユーザID
- イベント・スケジュール
- 関連ファイル
- 関連リンク

登録後の企業情報の表示画面(抜粋)を図4に示す。

企業名	DOCOMO	ID	d209566	選考状況説明会・セミナー	業界情報・通信
通信業界の特徴					
新技術を開発する		世の中を便利にする		企業のビジネスを支える	
新しい楽しさを作り出す					
DOCOMOの特徴					
知名度・話題性がある		業界での影響力がある		社員教育に力を入れている	
求める人物像					
課題発見力		自らを律す力			
リンク	ファイル				
link1	HP	file1.			
link2	マイページ	file1.			
link3		file1.			
今後のイベント	内容	実行場所	メモ		
2009-10-20	OB・OG訪問	福岡県	学務課の紹介。社会人3年目技術職山下さん		
<a href="#">修正する</a>					
<a href="#">削除する</a>					
<a href="#">DOCOMOのESを作成</a>					

図 4 企業情報の表示画面(抜粋)  
 Figure 4 Sample of company information

登録企業一覧では、登録数の増加を考慮し、企業を業界別・企業名順・選考状況順に分けることができる。またフリーワード入力による検索機能も備えている。

### 3.2 プロフィール情報管理

ユーザは学生時代に取り組んだエピソードを中心に、プロフィール情報を登録する。

- 学生時代に力を入れたこと
- 発揮した力
- 取り組む前の状況
- 解決方法
- 具体的成果
- 学んだこと
- 将来の夢・目標

登録後のプロフィール情報の表示画面(抜粋)を図5に示す。



図 5 個人プロフィール情報の表示画面 (抜粋)

Figure 5 Sample of personal profile information

### 3.3 ES 作成・共有

#### (1) ES 作成

登録した企業の ES の自動作成を行う。ES の設問内容は

- 自己 PR
- 志望動機
- 学生時代に取り組んだこと
- 長所

の 4 つである(b)。ES の作成画面を図 6 に示す。

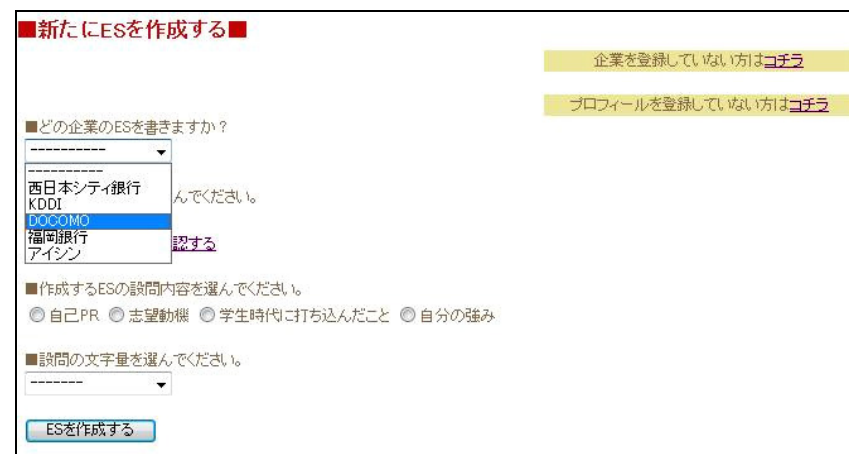


図 6 ES 作成画面

Figure 6 Preparation of Entry Sheet

プルダウン形式で企業名・設問内容・回答文字数を選ぶ。「ES を作成する」をクリックすると、ES 候補が表示される。ES 結果表示画面を図 7 に示す。

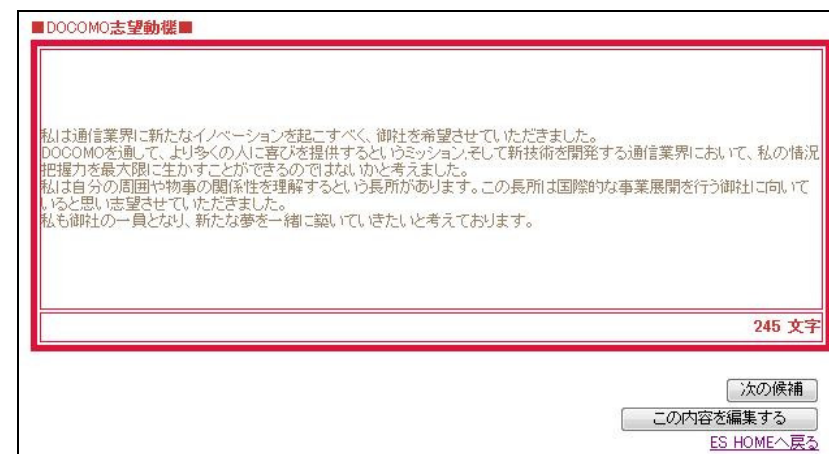


図 7 ES 結果表示画面

Figure 7 Sample of Entry Sheet

b)九州大学芸術工学部及び芸術工学府の調査において、学生が企業に最も問われた ES の設問内容上位 4 つを採用している。

「次の候補」をクリックすると新たな ES 候補が表示される。ES の案を気に入れば「この内容を編集する」をクリックし、ES 候補の編集を行う。編集後、ES を他のユーザに公開するかどうかを選択し、保存を行う。また、関連度の高い他のユーザの ES があれば、ES 候補表示時に関連 ES として画面下部に自動で表示する。

### (2) ES 共有

ES を公開していれば、他のユーザと ES の共有を行う。

以下 2 つの機能を有する。

- コメント・評価機能  
 コメントと評価を行う。評価は文章構成と内容を各々 5 段階で評価する。
- 他のユーザの ES 閲覧機能  
 優先表示や検索を行い、通過率・評価の高い ES、同企業を目指すユーザの ES を閲覧することができる。

### 3.4 その他の機能

#### (1) 就職情報版

就職情報全般についての意見交換を行う。情報版は内容ごとにスレッドが分かれている。自ら新しいスレッドを立てることができる

#### (2) 設定

以下の 3 つの機能を有する。

- ユーザの登録情報の変更
- 退会手続き
- 管理人への意見・質問

### 3.5 見出し

節の見出しを記述する場合には、段落前に 1 行の空白行を記述すること。なお、スタイル「IPSJ 見出し 1」を適用した節の見出しは 2 行を占めて出力される。

## 4. ES 自動作成の実装

経済産業は社会人基礎力として 12 要素(c)を定義している[9]。ユーザは情報管理の段階で企業情報の「企業が求める人物像」とプロフィール情報の「学生時代の取り組みで発揮した力」にこの 12 要素をそれぞれ対応づけて登録する。この 12 要素を使用し、志望企業に最も適したエピソードを抽出し ES を作成する。

エピソード抽出の流れを図 8 に示す。

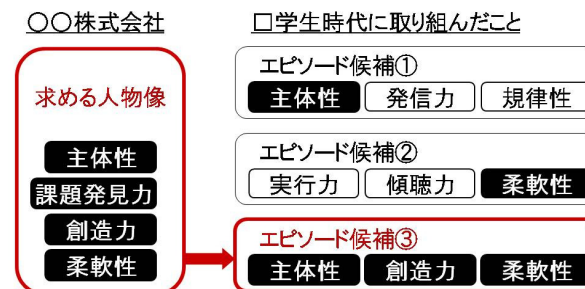


図 8 エピソード抽出の流れ  
 Figure 8 Approach of selecting episode

ある企業（〇〇株式会社）の ES を作成する場合、システム側で 12 要素が最も一致するエピソードを候補として ES に採用する。エピソード抽出後の、ES の作成方法を図 9 に示す。

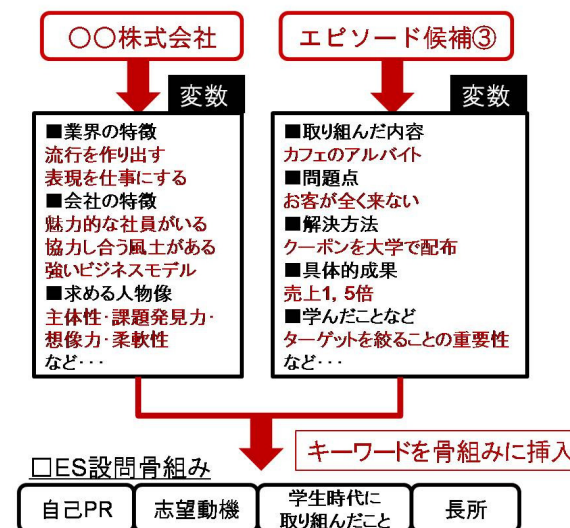


図 9 ES の作成方法  
 Figure 9 Approach of making Entry Sheet

c)12 要素とは主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール能力である。

エピソード抽出後、エピソードの内容はキーワードごとに分割し変数として保持する。設問の回答にはそれぞれ数パターンの骨組みを用意している。この骨組みにエピソードのキーワードを組み込むことで ES を作成している。

## 5. おわりに

本システムを利用すると、多様な情報や資料を一元的に管理することができ、業界・企業研究、自己分析、面接対策など就職活動に必須の対策を効率良く行える。また、その就職情報を利用し、企業とのマッチングをシステム側で行うことで ES の作成を支援している。現在、学生は一社の ES 作成に平均 4,6 時間費やしている。しかし、本システムを利用することで比較的精度の高い ES を 10 分程度で作成することができる。また、各設問 28800 通りの ES のパターンがある(d)。そのパターンにユーザ独自のプロフィールを ES に組み込むため、同じ ES が出来ることはほぼ無い。

今後の課題として、実際に運用し、ユーザの意見を反映していくことが挙げられる。

**謝辞** 本研究にご協力頂いた皆様に、謹んで感謝の意を表する。

## 参考文献

- 1) MSN 産経ニュース  
<http://sankei.jp.msn.com/life/education/090213/edc0902132313004-n1.htm>
- 2) エンジャパン株式会社 2010 年度新卒採用就職・採用活動アンケート 6 月度  
<http://cafe.enjapan.com/download/info/1165>
- 3) 朝倉利紀,松崎大祐,井上孝太郎,徐海燕:就職情報登録閲覧 WEB システムの構築と運用(2008)
- 4) 樋口匡貴,塚脇涼太,藤永瞳,井邑智哉,深田博己:大学生の収縮活動における情報収集が進路探索行動に及ぼす影響,広島大学大学院教育学研究科紀,vol57,pp167-174(2008)
- 5) エンジャパン株式会社 2010 年度新卒採用総括資料  
<http://cafe.enjapan.com/download/info/1164>
- 6) リクルートのよる就職・転職・派遣の情報サイト  
<http://www.rikunabi.com/>
- 7) 九州大学大学院 2010 年度 就職活動に関するアンケート調査
- 8) マイナビ就活ワークシート  
<http://job.mynavi.jp/conts/2010/worksheet>
- 9) 経済産業政策会 社会人基礎力に関する研究会  
<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/kenkyukai.htm>

---

d )業界の特徴 20 種類×企業の特徴 20 種類×社会人基礎力 12 要素×骨組 6 種類で試算している。